

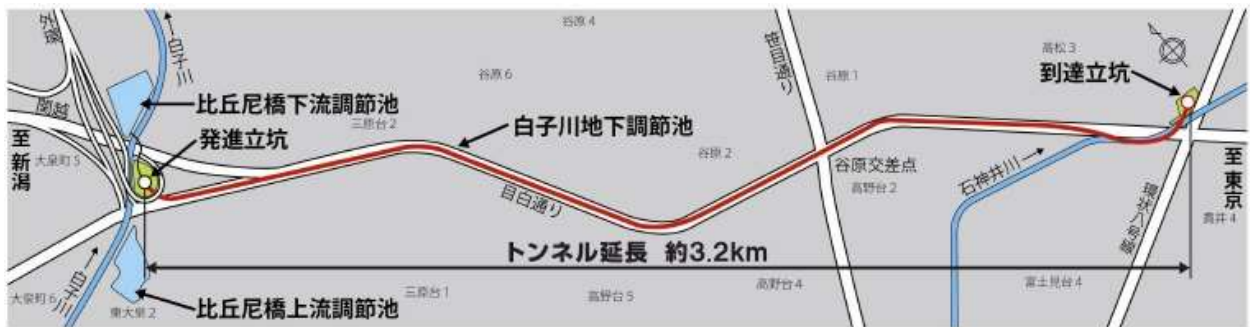
白子川地下調節池（白子川）

施設概要

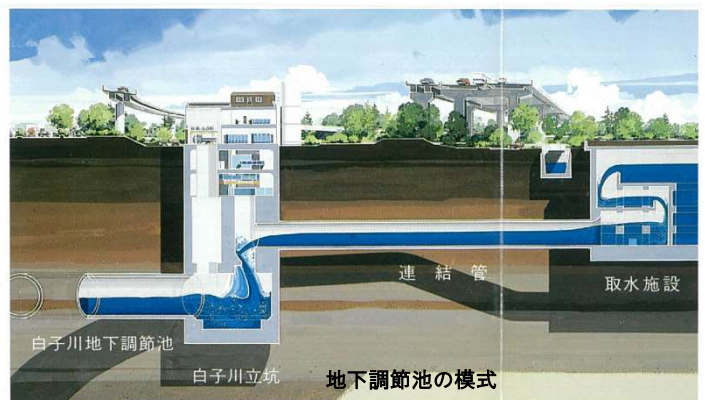
白子川地下調節池は、白子川中流部の治水安全度の早期向上を図るため、比丘尼橋周辺に整備された白子川調節池群の一つです。白子川は都県境を流れる河川であるため、東京都と埼玉県で河川改修を行っています。調節池群の整備により上流側に向けた整備が可能となっています。

当施設はトンネル内径 10m、延長 3.2 kmの地下トンネル式であり、トンネルは都道目白通りの道路下深さ約 35mに配置し、石神井川と都道環状八号線の交差点付近に配置した立坑に到達しています。洪水はまず白子川左岸の越流堰から比丘尼橋下流調節池内に流入します。その下流調節池がほぼ満水になると、連結管を通して白子川地下調節池に流入する構造となっています。

また、平成 22 年 7 月の記録的豪雨を受け、石神井川に取水施設を設置し、石神井川流域の安全性の向上もはかっています。



調節池内部



地下調節池の模式

施設諸元

位置	自 練馬区大泉町二丁目 至 練馬区高松三丁目
完成年度	平成 30 年度
施設形式	地下トンネル式
トンネル内径(m)	10.0m
延長(km)	3.2km
貯留量(m ³)	212,000m ³
越流堤延長(m)	比丘尼橋下流調節池より流入

位置図



調節池位置の QR コード

